取扱説明書・保証書

販売元／保証者：**シチズン時計株式会社**
本社／〒188-8511 東京都西東京市田無町６－１－12

AEC10

保証書		
商品名		
側番号		―
一連番号		
お客様	ご氏名	様
販売店	住所 店名	印
お買上げ日		年　月　日
保証期間		お買上げ日より１年間

＜保証規定＞
この時計をご使用中、取扱説明書にそった正常なご使用状態で自然故障を生じた場合には、下記保証規定により無料で修理・調整いたします。
■保証の対象となる部分
ウオッチの回路、コイル等電気部品、歯車等機械部品
■保証の態様（方法）
修理・調整を原則といたします。
修理の際、ガラス・ケース・文字板・針・りゅうず・バンドなどは一部代替部品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
■保証を受けるための条件（手続き）
保証規定による修理・調整の際は必ず現品に保証書を添えてお買い上げ店にご持参ください。ご贈答・ご転居などにより、お買い上げ店での保証を受けられない場合は弊社お問い合わせ窓口にお問い合わせください。
■保証の適用除外
保証期間中にも次の場合は有料修理となりますのでご了承ください。
- 革バンド、ウレタンバンド、電池交換及び使用中に生じる外観上の変化（ガラス、ケース、バンド類の小傷、汚れ）
- お客様ご自身による修理・改造または、誤ったご使用や不注意による故障及び損傷。
- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書にお買い上げ店名及びお買い上げ年月日の記載がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 天災・火災・事故などによる故障及び損傷。

※保証書に記載されている個人情報は製品の保証に関する以外には使用いたしません。
※修理用部品の保有期間などについては取扱説明書をご参照ください。
※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証書は、日本国内のみ有効です。
THIS GUARANTEE IS VAILD ONLY IN JAPAN.

保証とアフターサービス

＜保証について＞
正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。保証書は日本国内のみ有効です。

＜修理用部品の保有期間について＞
弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常4年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞
弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。

＜ご転居・ご贈答 品の場合＞
保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞
・防水性能について
防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために2 ～ 3 年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。
・分解掃除（内装修理）について
腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として5 年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜その他お問い合わせについて＞
保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

メモ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書は大切に保管し必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意 ― 必ずお読みください ―

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。
■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区別し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

⚠	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

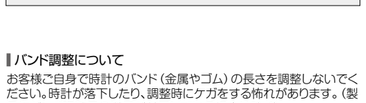
商品の特長

ソーラーテック
光を当てることで充電して時計を動かします。光エネルギーを電気に変換する光発電機能を搭載し、定期的な電池交換が必要ありません。一度充電が完了すると、光が当たらなくても約9ケ月間時刻を刻み続けます。

クロノグラフ
時間計測ができます。ウォーキングやジョギング、自転車などのタイムを計測できます。

ご使用になる前に

開封後、時計をご使用になる前に、必ず次のことを行ってください。
• 秒針が1秒ごとに動いているか確認する
秒針が2秒ごとに動いているときは、充電が必要です。



この時計は、文字板に光を当てて充電します。
時計を快適にお使いいただくために、時計に光をこまめに当てて充電してください。
詳しくは充電についての項目をご覧ください。

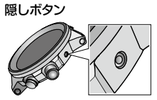
▌バンド調整について
お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）
バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

▌保護シールについて
時計のガラスや金属部分（裏ふた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

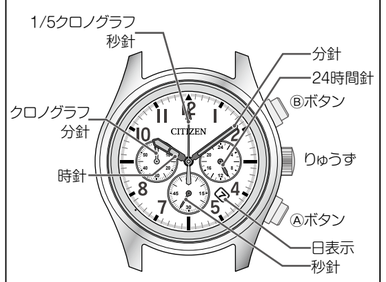
▌特殊な構造のりゅうずやボタンの使いかた
モデルによっては、誤操作を防ぐため、次のような構造のりゅうずやボタンの場合があります。

ねじロックりゅうず・ねじロックボタン
時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロックりゅうず	りゅうずが飛び出すまで、左に回す	りゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める
ねじロックボタン	ねじを左に回し、止まるまでゆるめる	ねじを右に回し、しっかり締める

隠しボタン

ボタンを押すときは、つまようじのような先の細いもので押してください。
・金属製のもので押すとボタンを傷つける恐れがありますので注意してください。

各部の名称



・ ソーラーセルが文字板の下に配置されています。
・ お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは異なる場合があります。

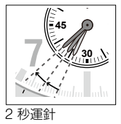
充電について

この時計は、文字板の下にあるソーラーセルによって発電された電気エネルギーを、内蔵の二次電池に蓄えることができます。充電は、文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより行われます。
時計を太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、次のように充電すると、快適にご使用いただけます。
・ 月に一度は直射日光に当てて、5～6時間充電する
・ 光の当たらない場所での長期保管を避ける

注意
・ 高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。
・ 衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。

充電警告機能

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒ごとに動きます（2秒運針）。文字板に光を当てて充電してください。
・ しばらく充電すると、秒針が1秒ごとに動くようになります（通常運針）。
・ 2秒運針が8日以上続くと、充電不足で時計が停止します。


2 秒運針

注意
・ 2秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。クロノグラフは使用できません。

クイックスタート機能

この時計は、充電不足で針が停止しているときでも、充電を始めるとすぐに針が動き始めます。
・ 針が動き始めても、引き続き充電を行ってください。
・ 充電後、時刻/カレンダーを合わせます。

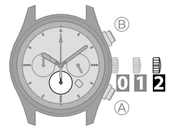
充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環境	明るさ（lx、ルクス）	充電時間（約）		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	2分	50分	9時間
屋外（曇天）	10,000	10分	7時間	60時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	35分	25時間	180時間
屋内照明	500	3.5時間	160時間	―

・ **直射日光での充電をおすすめします。**蛍光灯や屋内照明では、十分に充電するには明るさが不十分です。
充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまでおよそ9ヵ月間使用できます。
・ クロノグラフを1日に60分使用したときの期間です。クロノグラフをより多用すると、この期間は短くなります。
・ りゅうずの位置を **2** にするとすべての針が止まり、時計は停止します。長期間使用しないときなどにご利用ください。

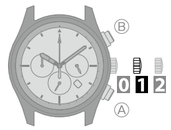
時刻を合わせる



1 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を 2 にする
すべての針が停止します。
・ クロノグラフ使用中は、クロノグラフはリセットされ、1/5クロノグラフ秒針が0秒を指します。
2 りゅうずを回して、時刻を合わせる
・ 24時間針も連動して動きます。午前/午後の違いに注意して合わせます。
・ 午前0時を超えると、日表示が1日進みます。逆回転で戻ることはありません。
3 時報などに合わせて、りゅうずの位置を 0 にして終了する

カレンダーを合わせる

この時計は、3月、5月、7月、10月、12月の初日にカレンダーを合わせる必要があります。
・ 時計の時刻が午後9時から午前1時までの間は、カレンダー合わせを避けてください。日表示が正しく切り替わらない場合があります。



1 りゅうずの位置を 1 にする
2 りゅうずを反時計回りに回して、日表示を合わせる
3 りゅうずの位置を 0 にして終了する

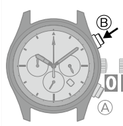
クロノグラフを使う

1／5クロノグラフ秒針は、通常は12時位置で停止しており、クロノグラフ計測時に59分59.8秒まで計測します。
・ スタートしてから1時間経過すると停止します。
・ クロノグラフの使用中でも、時刻は通常どおり表示されます。
・ 充電警告(2秒運針)中は、クロノグラフは使用できません。

Ⓑボタン:
①一度押すと計測をスタートします。
②計測中に再度押すと計測をストップします。
③ストップ状態で再度押すと、その位置から再度計測をスタートします。
※計測中にⒶボタンを押すと計測時間がリセットされます。
Ⓐボタン:
クロノグラフ分針／秒針をリセットします。
りゅうずが2段引き位置のときクロノグラフは使えません。
計測中にりゅうずを2段引くとクロノグラフがリセットされます。

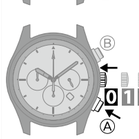
1/5クロノグラフ秒針の位置を修正する

1/5クロノグラフ秒針が、0秒に戻らなくなったときに位置を修正します。
1 りゅうずの位置を 2 にする
・ 時計が停止し、すべての針の動きが止まります。修正が終わったら時刻合わせを行ってください。



2 Ⓑボタンを2秒間押し続ける

3 Ⓑボタンを押して、1/5クロノグラフ秒針の位置を0秒に合わせる
ボタンを押すごとに、1/5クロノグラフ秒針が1ステップずつ動きます。
・ ボタンを押し続けている間、1/5クロノグラフ秒針は連続して動きます。



4 りゅうずの位置を 0 にする
5 Ⓐボタンを押して終了する

困ったときは

困ったときは以下の項目をご確認ください。

時計の状態	対処方法
針の動きがおかしい	
秒針が2秒ごとに動く	充電する
秒針が動かない	りゅうずの位置を 0 にする
	直射日光で1時間程度の充電が必要です。
カレンダーがおかしい	
日表示が正しくない	カレンダーを合わせる

時計の状態	対処方法
クロノグラフがおかしい	
使用できない	充電警告(2秒運針)中は、使用できません。充電してください。
途中で止まっている	Ⓐボタンを押してリセットする
リセットしても、1/5クロノグラフ秒針が0秒に戻らない	1/5クロノグラフ秒針の位置を修正する

ソーラーテック取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》
■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
■ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意 充電上の注意

充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約60℃以上）での充電は避けてください。
例）
- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

※ 白熱灯で充電するときは、必ず50cm以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》
・ この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告 二次電池の取り扱いについて

・ お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・ 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告 指定の二次電池以外は使わないでください

・ この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

防水性能について

⚠ 警告 防水性能について

・ 時計の文字板もしくは裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、右表を参照して正しくご使用ください。（1barは約1気圧に相当します）
・ WATER RESIST (ANT) ×× barはW.R.×× barと表示している場合があります。
・ 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
・ 日常生活用防水時計（3気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
・ 日常生活用強化防水時計（5気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・ 日常生活用強化防水時計（10/20気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

名称	表示 文字板または裏ぶた	仕様	使用例 水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ガンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水遊びついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
非防水時計	―	非防水	×	×	×	×	×
日常生活用防水時計	WATER RESIST	3気圧防水	○	×	×	×	×
日常生活用強化防水時計	W. R. 5 bar	5気圧防水	○	○	×	×	×
	W. R. 10/20 bar	10気圧防水、20気圧防水	○	○	○	×	×

お取り扱いにあたって

⚠ 注意 人への危害を防ぐために

・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
・ バンドのピンが飛び出しているときは、
・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠ 注意 使用上の注意

・ りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
・ 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。
・ 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
- 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
- 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
- 入浴するときは時計をはずす。

・ 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。
時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠ 注意 携帯時の注意

＜バンドについて＞
・ 皮革バンドやウレタンバンド（ゴムバンド）は、汗や汚れにより劣化します。また皮革バンドは自然素材のため磨耗や変形、変色などの経年劣化があります。定期的に交換してください。
・ 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります（脱色、接着はがれ）。また、かぶれの原因にもなります。
・ 皮革バンドに揮発性薬品、漂白剤、アルコール成分が含まれる物質（化粧品など）が付着しないようにしてください。色落ち、早期劣化の原因となります。また、直射日光などの紫外線も変色や変形の原因となります。
・ 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
・ バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。
・ 以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
- 瞬食により、バンドに異常が認められたとき
- バンドのピンが飛び出しているとき

・ お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。
（製品にバンド調整用の道具が付属している場合は除く）
バンドの調整は、お買い上げ店または、MBサービスセンターにて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

＜温度について＞
・ 極端な高温/低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。

＜磁気について＞
・ アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。
磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

＜ショックについて＞
・ 床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

＜静電気について＞
・ クオーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

＜化学薬品・ガス・水銀について＞
・ 化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

＜保護シールについて＞
・ 時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠ 注意 時計は常に清潔に

・ りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
・ ケースやバンドは、直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
・ ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。
皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
・ 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法
・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は
時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。
・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。